

厄年とは人の一生のうちで、大きな厄病や災難に遭う恐れが多い年齢のことをいいます。古来、文献によって多少の相違がありますが、男性は、二十五歳・四十二歳・六十一歳、女性は、十九歳・三十三歳・三十七歳・六十一歳を本厄といっています。また、その前後を前厄・後厄といい、本厄と合わせた三年間は運勢が大凶に当たります。

ことに男性の四十二歳、女性の三十三歳を大厄といい、一生のうちで最も注意しなければなりません。『三十三の厄は、転じて三十三の幸（さいわい）とならせ給うべし』とあり、日蓮宗で行う厄払いの修法祈禱はすべてこの意に基づいて行われます。

当山では、一年の節目に当たる節分に、星廻りを司る北辰妙見大菩薩、行者守護の鬼子母大善神の御前において、特別厄除祈禱を厳修し、厄除御札を授与いたします。

日時 二月 三日 午後三時頃

特別厄除祈禱

祈念料

一人

千円

令和七年度 厄年表

女性	男性	
平成21年（18歳）	平成15年（24歳）	前厄
平成 7年（32歳）	昭和61年（41歳）	
平成 2年（36歳）	昭和42年（60歳）	
昭和42年（60歳）		
平成20年（19歳）	平成14年（25歳）	本厄
平成 6年（33歳）	昭和60年（42歳）	
平成 2年（37歳）	昭和41年（61歳）	
昭和41年（61歳）		
平成19年（20歳）	平成13年（26歳）	後厄
平成 5年（34歳）	昭和59年（43歳）	
平成 元年（38歳）	昭和40年（62歳）	
昭和40年（62歳）		

※()内は数え年です

別紙申込用紙にてお申し込み頂くか、左記メールアドレスに、氏名・生年月日・年齢（数え年）・性別と特別厄除祈禱申込の旨をご記入いただき、お送り下さい。

daihoushi.nichirensyu@gmail.com